

◆研究概要等

広告会社の電通で 34 年間、クリエイティブを中心に多様な仕事をしてきました。

メディアやプロモーション領域から始まり、コピー、CM、インタラクティブ、AI やメタバースなどを活用したクリエイティブ、更に事業開発などをクリエイティブ・ディレクターとして企画・プロデュースしてきました。この知見をベースに、広告コミュニケーションの可能性を拡張・開拓していくと共に、人の心を動かすものづくりを皆さんと考えていきたいと思えます。まずは発想力を育てるために多彩な事例を見て考えることでアイデアの引き出しを増やします。そして、企画・制作の実践。頭から湯気が出るぐらい考え抜きましょう。人の心はそんなにカンタンに動きません。私も毎回悩みます。しかし、その小さなアイデアや言葉が、凍った氷を溶かすように誰かの心を動かすかもしれない。さらに制作すると思い通りにいかないことや逆に思いがけない発見もあります。そのムズカしさと楽しさに気づいたとき、広告コミュニケーションの可能性を広げる答えは、あなたの中にひとつ生まれるかもしれません。

■研究テーマ等

1. 素敵な贈り物を考える発想力を育てる
たとえば、好きな人に贈り物をしたい。その時にまず何をしますか？その人の好みを元に何を贈ったら喜ぶか考えるはずですが（言わばリサーチと仮説の立案です）。次に具体的な贈り物を予算に応じて買ったり、手作りなどを検討します。渡し方や言葉の伝え方も大事です。（これはまさに企画のそのものです）。広告コミュニケーションの出発点である発想力を育てるために大事なことはこの中に詰まっています。人を中心にした素敵な贈り物を考える力を育てましょう。

社会マスメディア系専攻
8D研究室
教授

てらもと まこと
寺本 誠

teramoto@socio.kindai.ac.jp



2 コミュニケーションの可能性を拡張する。
コピーや映像はもちろん大事です。言わば人間の体で言えば骨や筋肉のようなもの。しかし、その骨や筋肉はアイデアとテクノロジーで翼にもなる。複雑化する課題に対して広告コミュニケーションも幅広く進化しなくてはならない。360度マーケティングより、365日の生活プログラムを考えるべきであり、DE&Iの視点もまだ日本は立ち遅れている。ライフスタイルから社会課題まで課題を幅広く発見し、それを解決するために広告コミュニケーションの可能性を拡張しましょう。

3. スペキュラティブデザインを考える

元々はロンドンのRCA（ロイヤル・カレッジ・オブ・アート）で提唱された考え方。あり得るかもしれない未来について考え、提案するデザイン思考です。イノベーションを創出する方法として注目されたデザインシンキングとプロセスは近いですが、現実の課題に向き合うデザインシンキングとは異なり、未来をよりよくするための「問い」を生み出し、提案するところが違います。まだ私

も取り組んでいる最中で日々勉強ですが、皆さんと共に考えていければと思います。

4. プレゼンテーション力を高める

いきなり現実的な話になりますが、就活は自分の広告でありプレゼンテーションです。

面接官の経験も踏まえて就活に向けた自分の強みや弱みの棚卸し、そして自己PR方法や模擬面接、シートの書き方など、「就活」に関することを積極的に実施。個別面談も行います。

●受賞等

IBA(国際放送広告賞) 部門賞、カンヌ広告賞サイバーライオンブロンズ、ONESHOW INTERACTIVE ブロンズ、アドフェスト銀賞、広告電通賞インターネット/ウェブサイト部門優秀賞、文化庁メディア芸術祭エンターテインメント部門 審査委員会推薦作品、日経広告賞 公共部門最優秀賞、コードアワード「グッド・ユースオブ・メディア」、中日新聞広告大賞審査員特別賞

▲趣味等

大学で映像のインスタレーションなどメディアアートを創っていたこともあり、現代美術は友人も多くギャラリーにもよく行きます。写真、シンセサイザーによる音作りなどものづくり全般が好きです。なお、特技はアーク溶接。時間ができたら離島もめぐりたい。地理的に囲まれたり離れた場所は面白く、何より旅での人と人の出会いが面白い。あと NPO の日本細胞農業協会の会員でもあります。培養肉など食の未来にも関心があります。あとはスイーツが好きです。運動しなくちゃ。

◆ゼミの宣伝等

広告コミュニケーションは、広義の意味で課題解決です。クライアントや社会課題の解決方法を考える形にするためには、常識や先入観や前例を疑い、多様な視点から考えることが大切。このゼミでは何より観察力を磨き、考え、対話により他者の意見を受け入れること、モノづくりを前向きに楽しめる力を伸ばしたいと考えています。そしてこの先、みんなが向き合うのは未来です。今の常識なんて大きく変わります。それならば、より面白い未来を創るために、どんな提案があるべきかも今から考えたい。いつも人を中心に置いて、問いと答えを自分の言葉とアイデアで表現し、伝えられるクリエイティブな人間をこのゼミでは目指したいと思います。楽しくやりましょう。